令和6年度 事務事業評価シート(1)

「令和5年度事務事業]

		L 1-1 1	~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業			
事務事業名	障害児施設入浴サービス事業				事業番号	011-289	
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害福祉!	ナービス	課

						I.基本情	事報						
事	事業の位置付け												
	IM-t-++-L	施策	有·無	単	比略	2.人生100年時代の健康・福祉 ~Well	人生100年時代の健康・福祉 〜Well – being〜 施策 (5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の!						
	堺市基本 計画	との 関連	有	取組の	の方向性 ④ 障害のある子どもとその家族への支援								
	2025	寄与する	有·無	指	標名			_					
1		KPI	無		状値	<u> </u>		目標値		<u> </u>			
_	ш±срс-	施策との	有·無		ール	ゴール(10)人や国の不平等をなく		ターゲット		10.2			
	堺市SDGs 未来都市	関連	有		双組	障害者児及びその家族に対する支援							
	計画	する			標名								
		KPI	無	現	状値			目標値		_			
2	2 関連計画												
3	事業開始	年度				平成 17 年度	点板	食対象年度		令和 7 年度			
4	4 実施根拠 堺市障害児施設入浴サービス事業実施要綱												
-	(根拠法令、条例等)												
争	事業の概要												
5	5 事業の実施主体 (実施主体となる団体等) 本庁、各区												
	±			β	障害児施設入浴サービスによらなければ入浴することが困難な者で、身体障害 対象数 単位								
6	事業の対象(対象とする	- 1	、対象数)		、または療育手帳を交付されている12歳	3	人					
				9	する日以降の最初の3月31日までの間も含む)								
7	事業の目的	的		E	自宅での入浴が困難な障害児を施設で入浴させることにより、当該障害児及びその家族の福祉の向上や、障害児の身								
	(事業実施	によりめる	ざす状態)	1	本の清潔の維持・心身機能の維持を図る。								
Н													
	事業内容		+										
	(目的を達成するための手 段)												
	FX)			1	保護者の介助が困難な12歳以上18歳未満の障害児に施設にて入浴の機会を提供する。 (利用は1週間当たり2回とし、月10回を限度としている。)								
8													
	 ※スケジュール、実施方法・手			≜									
	段、事業規	莫•回数	など										
	※国・府の	基準より)上回って	て実									
	施した内容	を具体に	的に記載										
9	主な支出先				生活協	B同組合エスコ−プ大阪、社会福祉法人	サライ福祉	会 等					
10	公民連	携·協	働事業										

Ⅱ. 事業目的の達成状況 事業の成果や活動実績の測定 目標 点検対象年度 目標 成果指標(目的の達成状況を測定) 単位 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 目標値 年間利用者延人数 実績値 58 50 人 達成率 当該指標を選定した理由 事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。 延べ利用者数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制 目標値の設定根拠・算出方法 度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。) 単位 活動指標(成果を上げるための手段) 令和4年度 令和5年度 令和6年度 目標値 利用回数 273 実績値 250 達成率 12 当該指標を選定した理由 事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。 延べ利用回数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制 目標値の設定根拠・算出方法 度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)

令和6年度 事務事業評価シート(2)

事務事業名 障害児施設入浴サービス事業 011-289

Ⅲ. 投入量														
3	業	コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。					(単位:千円)		
		項目	f	5和3年	度	令和4年度		令和5年度				令和6年度		
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		決算		決算		当初予算		決算		当初予算		
	事	業費 (a)	3,461		2,086		4,554			2,256			2,856	
		国支出金												
13	財	府支出金												
	<mark>源</mark> 市債													
		<mark>内</mark> その他 ()												
	訴	受益者負担金(使用料、手数料等)			140		112		102			62	69	
		一般財源			3,321		1,974		4,452			2,194		2,787
14	_	、件費 (b)	1,640		1,640		1,620		1,620		1,620			
		間経費(c)=(a)+(b)	5,101			3,726		6,174 3,876		3,876	<u> </u>			
3	業	費の内訳											(単位	[: 千円)
		項目	年	度	事業費	うち 一般財源		項	目		年	度	事業費	うち 一般財源
		障害児施設入浴サービス事業委	R5	決算	2,25	5 2,194					R5	決算		
		託料	R6	予算	2,85	5 2,787					R6	予算		
	事		R5	決算							R5	決算		
16	業		R6	予算							R6	予算		
1	大		R5	決算							R5	決算		
	訴		R6	予算							R6	予算		
			R5	決算							R5	決算		
			R6	予算							R6	予算		
			R5	決算							R5	決算		
			R6	予算							R6	予算		

	Ⅳ. 事業の効率性													
単	単位当たり経費													
			☑ 分	単位	令和4年度	令和5年度								
	1	利.	l用回数	回	250	273								
17	2	上記①に	かかる年間経費	千円	3,726	3,876								
	3	単位当たり経費	(②÷①×1,000円)	円/単位	14,904	14,198								
	備考	(算出についての説明等)												

V. 評価

費用対効果に係る所見

本事業は、自宅での入浴が困難な障害児について、施設での入浴の機会を提供するものであり、障害児の身体の清潔の維持や心身機能の維持等を図るためには必要不可欠なものである。費用については、障害児の身体の清潔の維持・心身機能の維持等に繋がっていることを考慮すると妥当であると考えている。令和5年度は、年間利用者延人数、利用回数ともに顕著な増減は見受けられなかった。

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

本事業は、保護者の介助が難しく、自宅での入浴が困難な障害児に、身体の清潔の維持や心身機能の維持、当該障害者及びその家族の福祉の向上を図るため、施設での入浴の機会を提供するものであり、障害のある子どもと家庭への支援に寄与している。